



『PCAクラウド』導入による  
BCP対策への安心感・月次決算のスピード化・  
オフィスの効率化を実現。  
そしてそのオフィスを  
実際にお客様に見学・体感してもらう。

## 株式会社 モリックスジャパン

企業のワークシステムの効率化を提案している株式会社モリックスジャパン。同社はPCAの販売パートナーでもあり、PCAのソフトやシステムをわかりやすくお客様へ伝えるために、自社そのものをショールーム化し公開している。実際に同社を見学したお客様からは、PCA導入後の業務をイメージしやすいと人気だ。BCP対策や月次決算のスピード化にも『PCAクラウド』が大きく役立っていると評価している。

### 導入システム

○PCA クラウド イニシャル"0"プラン (Type6 3CAL)

・PCA 会計 クラウド ・PCA 給与 クラウド

○PCA 商魂 with SQL (2CAL)

○PCA 商管 with SQL (2CAL)

○PCA 人事管理 with SQL (2CAL)

○Zaion'nex ※1 ○就業管理クロノス ※2

○テレタイム X-F ※3 ○Web レコーダー ※4

### 導入の狙い

- ・万が一災害が発生した場合でも大事な給与データや会計データを守りたい。
- ・自社内の業務をよりスムーズに効率化したい。
- ・PCAの販売パートナーとして、PCA製品の品質をより多くの人に知ってもらいたい。

### 導入効果

- ・『PCAクラウド』の厳重なセキュリティ、高度なDR対策によって大事なデータを守ることができる。
- ・『PCA会計X クラウド』の仕訳伝票の承認機能、『PCAクラウド』の最新データの共有化、勤怠管理システムと『PCA給与X クラウド』の連携で業務に確実性を加え、スピード化も実現。
- ・自社のオフィスを希望者に公開。勤怠管理などは実際の使用風景を見ってもらうことで導入後の業務をイメージしてもらう。

## プロフィール

### 株式会社 モリックスジャパン

- 本社所在地: 〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町203-6
- 資本金: 1,200万円
- 創業/設立: 昭和21年1月15日/昭和32年2月11日
- 従業員数: 44名
- 主業種: 卸売業
- 業務内容: システム機器、オフィス家具、事務用品の販売、保守・メンテナンス、システム開発
- URL: <http://www.morrix.co.jp>

□企業理念: 私たちは人にやさしい快適環境を創造し、未来をデザインするヒューマン企業です。



※1)『Zaion'nex』、2)『就業管理クロ  
ノス』、3)『テレタイムX-F』、4)  
『Webレコーダー』は、クロノス株式  
会社の製品です。



株式会社 モリックスジャパン  
代表取締役社長  
田井 智 氏



株式会社 モリックスジャパン  
総務部 部長  
尾崎 昭夫 氏

## 導入前の運用と課題

### ○重要な給与や会計データを 万が一の災害から守るために

昭和21年に創業した株式会社モリックス  
ジャパン。広く山陰地方一帯の企業へオフィ  
ス用品の販売だけでなく、システム開発や  
導入支援など先進のワークシステムを提案  
している。鳥取市内の本社以外にも倉吉市  
に支店を構え、ソフトウェア開発や文具販  
売のグループ企業も有している。

同社では以前からPCAソフトをオンプレ  
ミス環境で利用していたが、万が一の事態  
を想定したBCP対策(事業継続計画)が課  
題だったと語る。

「当社の場合かなり以前からBCP対策  
を検討していました。しかし具体的な有効策  
を見つけることができないままだったので  
すが、東日本大震災が起こりBCP対策は一  
刻を争うものだと再認識しました。そこで  
『PCAクラウド』に注目しました」(代表取締  
役社長 田井智氏)

「災害があった場合に社員が最も困るの  
は給与関係です。また会計データについて  
も税理士側が持っているのは年間データで  
すから、毎日の細かな会計データを確実に  
残しておきたいと考えました。BCP対策の問  
題点を洗い出していく中で、これらを解決で  
きるのには『PCAクラウド』だと考え検討を始  
めました」(総務部 部長 尾崎昭夫氏)

## 選定のポイント

### ○何重にも策を講じたDR(ディ ザスター・リカバリー)対策

BCP対策として『PCAクラウド』を検討し  
始めたからには、そのセキュリティ対策には  
大きく注目したと語る。とりわけデータセン  
ターを関東・関西の2拠点に設置している点  
に同社は興味を持ったそうだ。

PCAでは関東と関西それぞれにデータセ  
ンターを設置しており、いずれも震度6強相  
当の地震に耐えうる高度な免震設備や、大  
規模停電時にも対応できる自家発電システ  
ムを装備している。2013年からは各デー  
タセンター内で保管していたバックアップ  
データを、関東から関西のデータセンター  
へ、あるいは関西から関東のデータセン  
ターへとバックアップ専用回線経由で複製  
して保管している。

### ○テスト導入によって『PCAク ラウド』をお客様へ勧める確信 が持てた

充実したDR(ディザスター・リカバリー)  
対策はとても魅力的だったが、同時に『PCA  
クラウド』導入については処理時間のスピー  
ドが気になっていたようだ。

「『PCAクラウド』の良さ、とりわけデー  
タセンターの信頼性や厳重なセキュリティ対  
策は実はよく理解していたんです。ただク  
ラウドである以上レスポンスが気掛かりで  
した。当社は自社内だけでなく販売店として  
お客様にも『PCAクラウド』を勧めたいと考  
えていたので、事前にテスト導入を行いました  
」(尾崎氏)

テスト導入を実施したところ、事前に心配  
していたようなレスポンスの遅さを感じる  
ことはなかった。そこで『PCAクラウド』を導  
入。現在は自社内では『PCA会計X クラウ  
ド』『PCA給与X クラウド』を運用しており、  
実際に業務の質をアップさせる効果が出て  
いる。またお客様の中にも『PCAクラウド』  
を導入した企業がすでにあり、今後その数  
をさらに増やそうとしているところだ。

## 導入後の効果

### ○承認機能を利用して見落とし のないスムーズな承認作業に

『PCAクラウド』によって自社内のBCP対策  
の課題は一つクリアできることになった。

「これで万が一の災害発生時でも大事なデータを守るという環境は実現できました。これに加えて他の様々な効果も得られました。そのひとつが承認作業のデジタル化、システム化です」(尾崎氏)

『PCA会計X クラウド』の仕訳伝票発行・チェックリストでは「基本情報の登録」でそれぞれの承認階層と承認権レベルを関連付けることができる。紙の伝票に印鑑を押すのと同じように画面上に承認印を付けることができ、上長は未承認の仕訳伝票を絞り込んで出力できるため大事な承認作業を見落とすことがない。

「承認時間そのものは紙の頃と大きくは変わらないのですが、デジタル化することで見落とすことがなくなり、『PCAクラウド』によって権限を設定したうえで必要な社員同士で必要な情報を共有できるようになった点も大きいです。また頻繁な税制改正によって注意が必要になる給与処理も『PCA給与X クラウド』にしたことで安心感が加わりました。」(尾崎氏)

『PCAクラウド』のXシリーズでは、自動アップデート機能によって最新のプログラムを自動更新できる。そのため毎年の税制改正にも対応しやすく、確実な給与処理を行いやすい。とりわけ尾崎氏は『PCA給与Xクラウド』で税制改正などをいち早く通知する案内機能を高く評価している。

### ○月次決算のスピード化で、営業の次のアクションを起こしやすい

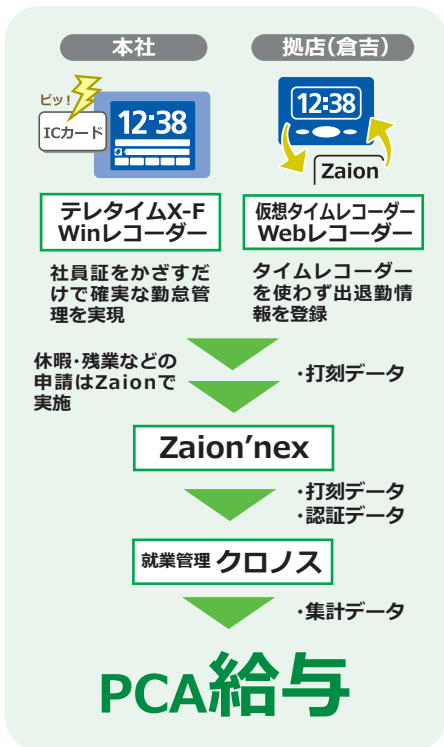
『PCAクラウド』導入による効果として、月次決算のスピード化も挙げられ、それが営業会議の限られた時間を有効に使う効果に結びついている。まずクラウド化によって複数の社員が数字を共有し確認しやすくなった。また仕訳チェックリストで承認をシステム化でき、毎月の仕訳データをはやく税理士に送ることも可能になった。

「月次の数字を締めてから1週間で月次報告ができるようになりました。以前なら営業



タイムレコーダーを使用する様子

### システム概況図



#### 【Point①】

万が一災害が発生した場合でも…  
関東・関西の2箇所にデータセンターがあり、バックアップ専用回線経由で複製して保管



#### 【Point②】

業務の確実性とスピード化を実現

- 『PCA会計』の仕訳チェックリスト承認機能
- 『PCA給与』と『勤怠管理システム』の連携
- 『PCAクラウド』の最新データの共有化

#### 【Point③】

PCAソフトを導入したオフィスを実際にお客様に見てもらい、業務の効率化を理解してもらう



『PCA会計』の仕訳チェックリスト承認機能で、承認もれを防ぎ、次の段階へ

『PCAクラウド』で複数人で数字を確認



営業報告の前に数字を把握でき、会議を活性化し、次の対策を立てやすい



本社外観

会議の場で数字を知る状況でしたが、今はそれぞれが数字を把握したうえで営業会議にのぞんでおり、その場で次の対策を打ちやすくなりました。業務の質そのものを濃くできていると思います」(田井氏)

『PCA会計X クラウド』はExcel®データへの変換も容易にできる。その特徴を活かして月次の決算や予算などのデータをExcel®で加工し、そのデータをサーバーに置いて公開し、社員がいつでも数字を確認できる環境も作っている。

『PCA会計X クラウド』『PCA給与X クラウド』はそれぞれExcel®変換が容易でデータに加工しやすいです。以前使用していた他社ソフトではAccess®変換だったので使いづらく苦労してましたが、今は必要なデータをExcel®で柔軟に作成し実際の業務へ役立てています」(尾崎氏)

## ○お客様に自社のオフィスを公開。PCA導入後のイメージをつかんでもらう

PCA製品を活用した同社の業務の効率化は、PCAを検討しているお客様にとっても大変気になる部分だ。そこで当社では自社のオフィスをお客様に公開して、勤怠管理や給与処理の一連の流れや『PCAクラウド』を利用した会計処理などを実際に見てもらおうようにしている。

「例えば当社は社員証のICカードをテレタイムにかざして出退勤管理を行っていますが、言葉だけではわかりにくいので、実際にICカードをかざすところから見てもらいそれがどのように記録され『PCA給与X クラウド』で処理されるのかを体感してもらっています。承認方法も同様に見てもらって

います。お客様からは『勉強になりました』『部長を連れてくればよかった』など100%前向きな反応をいただきます」(尾崎氏)

「勤怠管理はどこの企業でも課題になっている部分ですし、働く時間の管理は社会からも注目を集めている部分です。」(田井氏)

## 今後の課題と展望

同社では今後『PCA商魂X』『PCA商管X』『PCA人事管理X』も『PCAクラウド』へ移行し、その機能を業務へ活かしていきたいと語る。同社にはPCAソフト全ての認定インストラクターがおり、PCAの製品もサービスも熟知している販売パートナーの1社だ。

「PCAの担当者は経理や総務の知識がとて高いので、こちらの意図もよく理解してくれ安心です。ソフトウェアメーカーと販売店という関係ではなくて、本当の意味でパートナーとして一緒によい仕事をしています」(田井氏、尾崎氏)

同社はソフトウェア開発のグループ会社も持ち、働く人間がもっとも働きやすい環境を今後も提案し続けていきたいと語る。

「今後もPCAと力を合わせながら、働く人間のためになるオフィスの効率化、ワークシステムの効率化を実現していきます」(田井氏、尾崎氏)



株式会社 モリックスジャパン HP  
<http://www.morrix.co.jp>